

一年たって

佐藤綾菜

十月二十三日。中えつ大地震から一年かたち
ちました。地震から一年かたって、早くも感
じました。おそくも感じました。中えつ大地震
でとても多くの方が七くなり、きつと新潟県
民はいつまでも忘れないと私は思います。

私は、地震がおこる前、自分の室にいまし
た。その時は地震のことは阪神あわじ大震災
などや、ほぼ自分の頭の中では伝説化してい
ました。ちようど夕方で次の日の文化祭など
のことや、親善音楽会のことを考えていて、
ちようど気もぬけていて少しねむかったこと
を覚えていきます。

地震がおこった時は頭が真、白になりました
た。最初は家がずれたのかと思いましたが、
テレビのニュースにそれが映り、初めて何が
おこったのかわかり、おどろく前にだまっ
てしまいました。私は家で母と自分しかいなか
たのですが学校などには、ちなんをさせん

でした。

その後、食料などの買出しなどをしてたりな
どやちよつと外を歩いて、他の人は何をして
いるのか見に行ったりしました。

そして今日までいろいろありましたが新潟県
は、もとにもどつてきました。いろいろな県
の方から物を送つたりしてもらい、今のよう
に豊かな県になりました。

この地震を一生忘れることはないと思いま
す。悪い思い出のような気もしますが、良い
思い出もあつたと私は思います。この地震を
きっかけに何かを学んだような気がします。